

ツバキの話②

山の辺の道の南端＝海石榴市

大和盆地の東の縁を南北に走る古道・山の辺の道、その南の端・桜井市金屋に古代には海石榴市（つばいち、つばきいち）という市場が開かれていた。大和川の水運、長谷街道や山の辺の道等の交差点で交通の要衝に生まれた市場だ。現在大和川（初瀬川）のほとりに説明板が設けられているが、それによると、この市場では歌垣（うたがき）＝今日の合コン＝も開かれていたという。

さて、この「海石榴」は当時からツバキの中国名であり、先頭の「海」は海外渡来の意で、意識すれば「日本から来たザクロに似た花の木」か。今日でもツバキの漢字として「椿」、「山茶」と共に使われている（広辞苑でも）。

ニ上山のヤブツバキ（写真は故澤木仁さん）⇒

中国の「椿」は

一方中国で「椿」の文字が当てられているのは「香椿」で、日本ではチャンチンと呼ばれている。

私は群馬県高崎市の染料植物園で2度チャンチンをみたことがあるが、センダン科の植物で、ツバキとは全く別。高木で寿命が長く、「長寿」と同義の「椿寿（ちんじゅ）」という熟語もここから出ているようだ。

「椿」は国字か

このように日本と中国では異なった植物に「椿」の文字が使われている。こうした例は他にもあり、例えば桜は中国ではユスラウメであり、萩はカワラヨモギを指す。古代の漢字導入時、日本在来の植物に漢字をあてていったのだろうが、その作業の大変さ、困難さは想像に難くない。

その際の誤用、混乱もあっただろうし、私は「椿」も「誤用ではないか」と思っていたが、実は、「椿」は日本で造られた文字（国字）との説が有力だ。広辞苑にも「椿は国字」と書かれている。そして中国にも「椿」の文字があったということなのだろう。

迎春の思いの体現化か

地球温暖化や暖房施設・衣類の進歩などで薄らぎつつあるとは言え、春を待望する気持ちは今も昔も変わらない。厳寒の中で蕾を蓄え、春に先駆けて真っ赤で大きな花を咲かせるツバキに人々が迎春の意をこめて「椿」の文字を創り、あてたのではなかろうか。

何年か前の早春、新潟の雪国植物園でユキツバキ（多雪地方に適応したツバキ）を見たことがある。

↓ヤマドリ（ニ上山で） 分厚い雪に、地面に押し付けられながらも、幹や枝をしなやかにたわませて、



濃緑の葉と深紅の花を雪の中からのぞかせていた光景は今でも思い出して励まされる。

ちなみに、上記の桜も萩もそれぞれの季節を代表する植物、これらに漢字をあてがっていった古代人の思いを推量・想像してみるのも楽しい。





晩秋の御在所岳・中道コースを登る

11月11日朝7時八木駅発の電車に乗り、四日市で乗り換えて近鉄湯の山温泉駅で下車。バスで御在所ロープウェイ駅前に到着。9:30歩き始める。

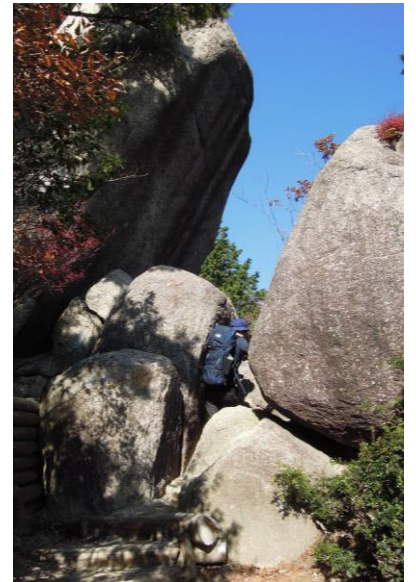
忠臣蔵由来の公園を見ながら

温泉街の中を抜けて三滝川沿いに舗装道路を上る。巨岩のある大石公園のそばを通る。公園名は巨岩故と思いきや、忠臣蔵の大石内蔵助にちなむとの事、それでは旅館「蔵之介」の名もそうだろうなとか思いつつ、

その前を過ぎてバイパスに突き当たり、10:25中登山道口着。

急登を喘ぎ喘ぎ登る

このコースを登るのは久々、はしご、岩場、ガレ場などが随所にある急登をゆっくり進む。高い段差の階段や岩場は、膝にサポーターを巻いた短い脚には予想以上の負担。やがてロープウェイ架線の真下で休憩、上を通るゴンドラから乗客が盛んに手を振ってくれる。それに応えながら歩き始める。おばれ岩、地蔵岩など巨岩、奇岩のそばを抜けて振り返ると奇岩の向こうに展望が広がっている。



伊勢湾や知多半島も

東名阪道路が横切る平野部と伊勢湾が一望され、その向こうに見えるのは愛知県の知多半島だろう。

振り返ると御在所岳の巉々たる岸壁が仰がれ、南には鎌ヶ岳の鋭い山頂が碧空に突き立っている。

くさり、ロープ、木の根にすがって

やがて6合目そしてキレットにかかる。鎖にすがって何とか底に降り立ち、今度はロープ、木の根を頼りに岩場をよじ登る。



登山道の傍らの岩に上って昼食・休憩。腹を満たして、ゆっくり登り、13:00朝陽台広場着。

20数年ぶりの挑戦

「天気の良い日には富士山が見える」と言われるだけに四囲の眺めは素晴らしい。一息ついて、山頂めざして歩きだす。さすがに疲れている。中道コースで登るのは3度目だが、こんなにしんどかったかな。改めて思い返すと、前回登ったのは20数年前なのだ。確実に歳をとり、
↓鎌ヶ岳の鋭峰

望湖台からは琵琶湖が

山頂広場に向かう階段で左足に違和感、痙攣の予兆だ。痙攣防止薬を飲み、ゆっくり歩く。風は冷たく、樹々は葉を落として、すでに初冬の装い。その中でアセビが赤い花芽を育てつつあった。
冬来たりなば春遠からじ

下りは大事をとってロープウェイを使い、バス、電車を乗り継いで帰宅した。

